

平成29年12月1日

保護者の皆様

立川市立若葉小学校
校長 井土 満

流行期にかかわる感染症の予防について

日頃より本校の教育活動への理解・ご協力いただきありがとうございます。
さて、例年これからの時期は、インフルエンザ及びノロウイルスをはじめとする感染症が多く発生する時期です。既に市内小学校でも、数校で学級閉鎖が出ています。立川市教育委員会より下記のような注意の呼びかけがありました。各家庭においても、予防対策を徹底し、感染防止をよろしく願いいたします。



記

1 手洗い・うがいをしっかり行うこと

きちんとした手洗いとは、手指の横や先端は言うまでもなく、手首の上まで、できれば肘まで、石けんを泡立てて、流水下で15秒以上洗浄する。布タオルを使用する場合は共用を避ける。石けんは液体石けんが望ましい。

いろいろな物を触った後、帰宅時、食事前、トイレの後に、流水と石けんによる手洗いをしましょう。また、手洗い場や水道が近くになく、すぐに手洗いができない場合は、消毒用エタノールを使って消毒を行いましょう。

2 頻繁に手で触れるものを清潔に保つ【定期的に消毒を行うこと】

ドアノブ、手すり、ボタン、スイッチなどは水拭きした後、1日1回の消毒（アルコール類でよい）が望ましい。ただし、ノロウイルスの場合は塩素系消毒剤を使用するなど、流行している感染症によっては、その病原体に応じた清掃を行う。

手や食器を清潔に保つことはもちろん、ドアノブや階段の手すり、トイレ、椅子、机、水道の蛇口、遊具などのウィルス除去も大切です。

3 正しい汚物の処理方法

おう吐物は、ゴム手袋をして、マスク等を着用し、ペーパータオルや使い捨ての雑巾で拭き取る。その際、外側から内側へ、周囲に拡大させないようにして拭き取る。拭き取ったものはビニール袋に二重に入れて密閉して破棄する。おう吐物の付着した箇所は、塩素系消毒液200ppm程度（市販の塩素濃度5～6%の漂白剤を約200倍に希釈）で消毒する。消毒剤の噴霧は効果が薄い。処理を担当した者は、石けん、流水で必ず手を洗う。

おう吐物を間違った方法で処理をすると、処理に携わった人に二次感染する恐れがあります。感染に十分に注意しながら、スピーディかつ、確実にいきましょう。

4 その他

発熱、嘔吐、下痢などの症状があり、感染が疑われる場合は、無理しての登校は避け、必ず病院での受診をお願いします。

【担当】立川市立若葉小学校

副校長：梅津 養護教諭：田邊

電話：042-536-3971